政治分析　４

政府の失敗

* 政府の機能 – 公共財の提供を**強制力**を持って行う。
* 政治権力のジレンマ – 与えられた強制力を用い、政治権力が自身の利益のために国民（本人）を搾取する。しかし、強制力（権力）が弱すぎるとそもそも公平性を保ち、公共財を提供することができなくなってしまう。
* → ある程度民主的統制を働かせて政治権力のジレンマを解消しても、**政府の失敗**は残る。

**自然独占**と政府の介入

* 自然独占を生む財 – 排除可能性があり、競合性がない （映画（全国規模の市場だと競合性があるので自然独占とは言えない）、水道、電話通信等、鉄道）
* たこ焼きと映画の例：たこ焼きは競合性がある→売るたびに経費がかかる。  
  映画は競合性がない→ 何回サービスを提供しても追加コストがかからない（電気代等は抜き）（映画は完全な私的財ではない）
* いずれも排除可能性があり、競合性のある財とない財の決定的な違い：**競合性のない財は限界費用における材料費がかからないため、限界費用がかからない（極めて低い、not factoring in labor cost etc）**→ **規模の経済が有効**
* 結果、先行した経済主体がその産業を**自然独占**して、**独占価格**を設定できてしまう（競争がない）。  
  → 資源配分が効率的に（全主体の効用を最大化する状態に）行われない
* **しかし、**二社以上にこのような財を扱わせると、規模の経済が十分に働かず、値段が全体的に上がってしまう（多数の経済主体が分立すると大規模なインフラの整備が高価となる）。本当は、一社が経済的利益を追求せずにこのような財を提供することが消費者の効用を最も効率的に高める＝**政府の介入**

電電公社の民営化

* 電話の革命的技術進化（半導体革命等）
* 1985年公衆電気通信法廃止  
  → 技術革新により電話という競合性がないが排除可能性がある財を扱う競争が可能となった。
* 競争による**イノベーション**

政府の失敗

* モラルハザード
  + フリードマン「民間企業は自分の利益のために自分の金を使って行動する。政府は他人の利害のために他人の金を使う。どちらが真剣で、正しい判断をできるかは明らかである」
  + １トンの釘 – 共産主義の計画経済（command market）  
    １トン分の釘を作るのではなく、１トンの釘を一つ作って怠けた  
    指令が曖昧だと、インセンティブが働いてない労働者は楽な道をとる。指令を細かくしようとすると、**膨大な情報を扱う必要が生じる**。ビッグデータの登場などで今後注目したい議論。
* 情報コスト
  + 「計画経済論争」と社会主義経済の失敗 – 指令を細かくしようとすると情報コストが膨大となってしまう。（モラルハザードでベストパフォーマンスを行わないから）

自然独占再論

* 規制はなくなるか？
  + 携帯電話と固定電話ネットワーク→固定電話ネットワークは電電公社のモノ。NTTが固定電話を自然独占  
    → 政府による規制介入の必要
* 自然独占と規制の必要
  + 自然独占できる財は完全な自由放任にはできない→**規制が必要である**
* 規制が生み出す新たな政治
  + 市場の失敗と政府の失敗の間でバランスよく行政運営

政府による規制の生み出す問題

* 規制の必要と規制のパラドックス：
  + 車の規制→ エアバッグ、シートベルト等の整備により運転席周りや社内の安全高まる→ 運転手の運転が乱暴になる→ 歩行者を巻き込んだ死亡事故が増加傾向にある。
  + 規制のパラドックス：規制が望んだ効果をあげるかどうか、また思わぬ副作用があるかどうかわからない。
* 規制が規制を生む：規制をかいくぐる事例が多く出てきて、次から次へと規制を増やさなくてはならない→ 規制が複雑化する。
* 規制とレント
  + レント＝「生産された財・サービスに対して、実際に支払われる価格と支払われるべき価格との差」
  + レントと資源配分の効率性
  + レント追求（rent seeking）と政治過程、**レントは規制の産物**
* 規制は私的財でもレントを作る
  + 貿易における関税
  + ヤクザと水商売　→ 非合法な営業で公共機関の介入が見込めない＝ヤクザに乱暴客などをつまみ出してもらい、その費用を払う（＝レント）
  + ヤクザの行う規制の妥当性を問う論争を決着させる方法は暴力しかない。
* 本人と代理人関係＝社会契約
  + 社会契約はレントを生じさせる。
  + 規制は誰かの利益となり誰かの不利益ともなる→ 万人を満足させる規制はない＝規制に関する論争、衝突が起こる（利益集団の政治）（国会で、選出された議員の話し合いという様相を呈する）。その衝突の結果、政府という権力が強制力を持ってその決定を下し、規制を行う。民主主義の根本的ルール。
  + 政府の行う規制の妥当性を問う論争を決着させる方法は国会という民主主義的仕組みである。